



## **Network Storage Server**

# **D240**

**設置説明書**

**Rev.1.24**

**FW 5.06.09**

## ■ はじめに

本書は、出荷時の初期設定および設置方法をご説明しております。実際に使用するにあたり必要となる管理設定や使用方法は、別紙を参照して下さい。

本書ならびに、各ドキュメントの内容を十分にご理解いただき、正しくご利用ください。

なお、製品の改良・バージョンアップなどにより本書と STEALTHONE D240 の内容が異なる場合があります。最新の情報は弊社サイト(<http://www.stealthone.net>)にてご確認ください。

※本製品は、データの保全を保証するものではありません。大切なデータはバックアップをお取り下さい。

## ■ 設置場所についてのお願い

本機は精密機器ですので、極端に高温や低温になる場所や湿気や水濡れ、ほこりの多い場所、振動の多い場所、不安定な場所には設置しないでください。

このような場所に設置された場合、ファンからの異音、発熱、動作不良や重大な事故を引き起こす可能性があります。普段から、製品の周囲を確認し、問題がある場合は速やかに清掃などの対処を行ってください。

保証期間内であっても、このような原因による故障の場合は有償のご対応になります。

できる限りサーバールームやサーバーラック内などの温度が一定でほこりが少ない場所に設置することを推奨します。

あわせて保証書の注意書きも十分にお読みください。

## ■ 設定準備

本機は精密機器ですので、極端に高温や低温になる場所や湿気や水濡れ、ほこりの多い場所、振動の多い場所、不安定な場所には設置しないでください。また、電波障害などが発生した場合は速やかに設置場所を変えるなどの対処をしてください。あわせて保証書の注意書きも十分にお読みください。

- ① D240 の LAN 1 ポートに設定用のコンピュータをLANケーブルで接続します。  
設定用のコンピュータは、Windows7 以降・InternetExplorer11 又は Firefox3.5 以上を推奨します。  
LAN の設定は 192.168.88.1/255.255.255.0 に手動設定してください。
- ② D240 の電源を入れ、電子音がしたら起動完了です。
- ③ コマンドプロンプト等で 192.168.88.253 宛てに Ping を打って接続されていることを確認してください。

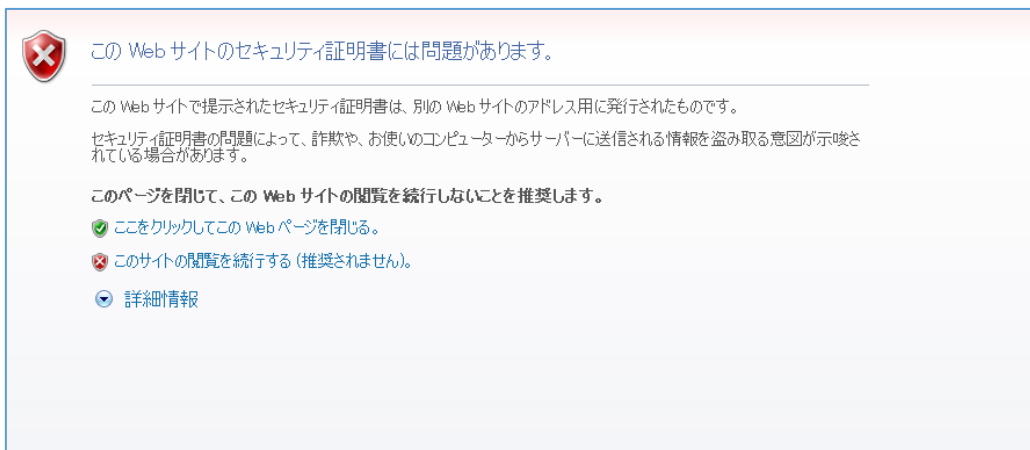
※ InternetExplorer5・6・7 では正常な設定が出来ませんので、ご注意ください。

### STEALTHONE D240 初期設定内容

LAN 1 ポートの IP アドレス	192.168.88.253/255.255.255.0
LAN 2 ポートの IP アドレス	192.168.89.253/255.255.255.0
ネットワークコンピュータ名	D240
設定画面 URL	https://192.168.88.253
デフォルト管理者ユーザーID	admin
デフォルト管理者パスワード	stealthone123

## ■ Step1 設定画面へログイン

- ① ブラウザで <https://192.168.88.253> にアクセスしてください。
- ② 証明書のセキュリティ警告確認画面で「続行」を選択してください。Firefox の場合は、サイトを例外に追加してください。



※ ローカルセキュリティ証明書を発行していますので多少時間がかかる場合があります。また、認証済みの場合はこの画面は出ないことがあります

- ③ ユーザー名とパスワードを入力して「ログイン」を押してください。



※ デフォルト値はユーザー名 "admin"、パスワード "stealthone123" です。

- ④ 動作状況のページが表示されればログイン成功です。  
レイアウトが崩れている場合は、ブラウザが古い場合があります。

The screenshot displays the STEALTH ONE management interface. On the left is a navigation menu with categories like 'サービス', 'ユーザー管理', '基本設定', '外部デバイス', 'システム設定', 'システム状況', 'ログ', and 'ログアウト'. The 'システム状況' section is expanded to show '動作状況'. The main content area is divided into three panels:

- システム状況 -> 動作状況 -> システムインフォメーション**: A table listing system information.

項目	
モデル	D240 5.05.01a17
システム時刻	2016 / 04 / 14 - 09 : 42 : 02
シリアルナンバー	JP5CEC718BB165280091
CPU情報	温度: 32.5 ° C ファン回転数: 1638 rpm
稼働時間	16 時間 6 分 50 秒
システムステータス	ロードアベレージ: 1% 2% 2%
LAN1 IPアドレス	192.168.88.253
LAN2 IPアドレス	192.168.89.253
- システム状況 -> 動作状況 -> RAIDインフォメーション**: A table listing RAID details and a gauge showing RAID usage at 4% (145G).

項目	
RAIDレベル	raid6
トータルサイズ	3,845,331,992 (3,66...
使用容量	151,723,888 (145GB)
RAIDデバイス数	4
総デバイス数	4
- システム状況 -> 動作状況 -> システムリソース**: Three gauges showing resource usage: CPU at 3%, Memory at 19%, and FAN at 33% (1648rpm).

## ■ Step2 管理者ユーザーID のパスワードを変更する

### ※ 注意 ※

必ず管理者ユーザーID のパスワードは変更して下さい。  
変更しない場合、外部から D240 へ不正にアクセスされるおそれがあります。

- ① ユーザー管理>ユーザー変更 画面でユーザーID のパスワードを変更します。  
“ユーザー選択”から「admin」を選び、“パスワード”へ新しいパスワードを入力し、“登録”を押します。

The screenshot shows a web interface for user management. On the left is a menu with options like 'サービス', 'ユーザー管理', 'ユーザー追加/変更', 'ユーザー管理', '基本設定', '外部デバイス', 'システム設定', 'システム状況', 'ログ', and 'ログアウト'. The main area is titled 'ユーザー管理 -> ユーザー追加/変更'. It has buttons for 'クリア', '削除', and '登録'. Below this is a 'ユーザー一覧' table with 'admin' selected. To the right is a 'ユーザー情報' form with fields for 'ユーザーID' (admin), 'パスワード', 'パスワード (確認)', 'メールアドレス' (admin@nas.stealthone.jp), 'メールアドレス2', '機能' (admin), '表示名' (Administrator), 'よみがな' (Administrator), and 'グループ' (admin). The password fields are highlighted with a red box.

- ② 一旦、メニューの「ログアウト」からログアウトし、再度新しいパスワードでログインし直して下さい。

※ご注意下さい。

admin のパスワードはコンソール等で初期化することができません。

不明になってしまいますと、機器をお預かりしないと admin パスワードの初期化が行えません。

変更したパスワードは紛失しない様に、ご注意下さい。

## ■ Step3 IP アドレスを設定する

基本設定>ネットワーク 画面でネットワークの全体的な設定をします。

ルーターアドレスを“IPv4 ゲートウェイ”へ、

D240 のアドレスを“LAN1 IPv4 アドレス”へ、

DNS サーバーアドレス(通常はルーターアドレス)を“プライマリ DNS”へ入力します。

最後に“登録”を押します(データの反映に少々時間がかかる場合があります)。

基本設定 -> ネットワーク -> ネットワーク	
<input type="button" value="登録"/>	
IPv4 ゲートウェイ	192.168.1.1
IPv6 ゲートウェイ	
LAN1 IPv4アドレス	192.168.1.253
LAN1 サブネットマスク	255.255.255.0
LAN1 MTU	1500
LAN1 IPv6 アドレス	
LAN1 IPv6 プレフィックス長	
LAN2 IPv4アドレス	192.168.89.253
LAN2 サブネットマスク	255.255.255.0
LAN2 MTU	1500
LAN2 IPv6アドレス	
LAN2 IPv6プレフィックス長	
ホスト名	nas.stealthone.net
プライマリDNS	192.168.1.1
セカンダリDNS	
HTTPS Port (デフォルト: 443)	443
モバイルダウンロードポート (デフォルト: 80)	80
ゴミ箱を表示	<input checked="" type="checkbox"/>

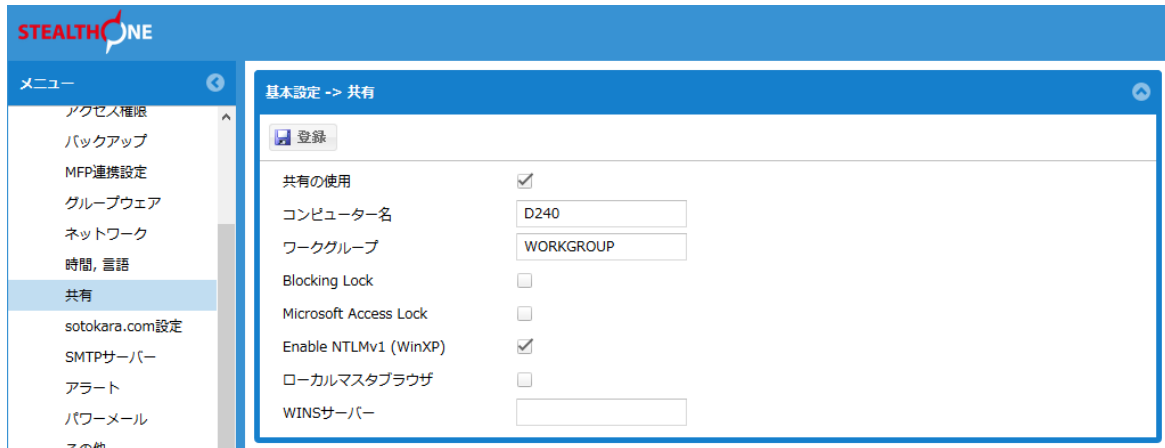
※VPN 環境下で転送速度が遅くなる場合は、MTU の値を「1280」への変更をお試し下さい。

※他の設定項目に関しましては、管理者向け操作ガイドをご覧ください。

## ■ Step4 ネットワークコンピュータ名の設定

基本設定>共有 画面でネットワークコンピュータ名の設定をします。“コンピュータ名”へ D240 のコンピュータ名を入力し、“ワークグループ”にワークグループ名を入力し、最後に“登録”を押します(データの反映に少々時間がかかる場合があります)。

WINS サーバーが LAN 内にある場合は、WINS サーバーのアドレスも入力して下さい。



ファームウェア v5.06.02 から、セキュリティ対策の為 NTLMv1 が無効になっています。

WindowsXP や、それ以前の OS からアクセスする場合、一部の複合機からのアクセスに NTLMv1 が必要になる場合があります。

必要な場合のみ「Enable NTLMv1 (WinXP)」にチェックを入れてください。

※他の設定項目に関しましては、管理者向け操作ガイドをご覧ください。

※

◆ここまで終了した時点で、Step10 を参照して再起動をしてください。

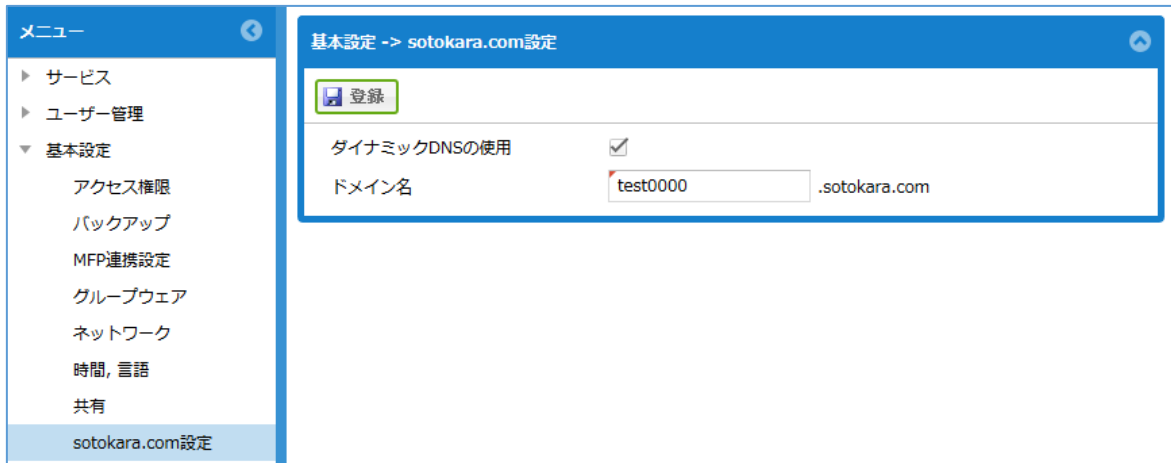
再起動後、LAN1 をネットワークへ接続して下さい。



## ■ Step5 ダイナミックDNS (そとから.com) の設定

※外部からグループウェアへのアクセス・パワーメール機能を使用するのに必要です。

基本設定>sotokara.com 設定 画面でダイナミックDNSの設定をします。“ダイナミックDNSの使用”にチェックを入れ、“ドメイン名”へ任意のアドレスを入力し、最後に”登録”を押します(データの反映に少々時間がかかる場合があります)。



基本設定 -> sotokara.com設定	
登録	
ダイナミックDNSの使用	<input checked="" type="checkbox"/>
ドメイン名	test0000.sotokara.com

※インターネットへの接続が済んでいない場合、設定反映に時間がかかりエラーが出ます。

その場合、インターネットへの接続が済んでから、もう一度設定して下さい。

IP アドレスの反映には、プロバイダによりますが 10 分～1 時間程の時間がかかります。

ログは、ログ>システムログの sotokara.com ログに表示されます。FAIL と表示されている場合は、設定を確認してください。



ログ -> システムログ				
RAID ログ	システムログ	sotokara.com ログ	Eメールレポートログ	自動アップデート
時間	情報			
2014/09/22 17:11:52	Activate [testd240] OK			

※毎時 00 分～10 分の間に IP アドレスのチェック・更新が行われます。グローバル IP アドレスに変更があった場合、この更新後にアドレスが変更されアクセス出来るようになります。

## ■ Step6 パッケージセンター

※アンチウイルスなどの機能を利用するには、パッケージセンターからアプリケーションをインストールする必要があります。

システム設定>パッケージセンター 画面で各コンテンツのダウンロードおよびインストールを行います。各コンテンツの“インストール”をクリックすると、ダウンロードとインストールが開始されます。インストール中は他のコンテンツの操作はできませんので、そのままお待ちください。



インストール状況は、パッケージセンター下部の“パッケージセンター動作状況”に表示されます。

「〇〇 開始」と表示されていればそのコンテンツは使用できます。



### ◆Apple Filing について

Mac で D240 にアクセスする場合、通常は SMB を利用しますが、Apple Filing パッケージをインストールしてあれば、AFP (Apple Filing Protocol) でもアクセスすることができます。こちらを利用すると、Mac の TimeMachine の保存先を D240 に指定することができるようになります。

Finder > 移動 > サーバーへ接続 > afp://(D240 の IP アドレス) でアクセスしてください。

※詳しくは、ユーザー向けガイド P.35 を参照して下さい。

## ■ Step7 SMTPサーバーの設定

※パワーメール機能やEメールレポート等を使用するのに必要です。

基本設定>SMTPサーバー 画面でSMTPサーバーの設定をします。

プロバイダの設定情報を参考に、入力して下さい。入力したら“登録”ボタンを押して下さい。

基本設定 -> SMTPサーバー	
登録	
SMTPサーバー	mail.stealthone.jp
587番ポートの使用	<input checked="" type="checkbox"/>
ESMTPの使用	<input type="checkbox"/>
SMTP認証の使用	<input checked="" type="checkbox"/>
SMTP認証ID	sendmail@stealthone.jp
SMTP認証パスワード	●●●●●●●●●●
POP3ポート	110
POP3認証の使用	<input type="checkbox"/>
POP3認証ID	
POP3認証パスワード	

※設定後、ユーザーアカウントでログインし、パワーメールで送信できるか確認してください。

エラーが出る場合は、設定を確認してください。

通常の設定で送信できない場合は、「Using ESMTP」にチェックを入れてください。送信できるようになる場合があります。

## ■ Step8 Eメールアラートの設定

※HDD の障害が発生した場合に通知します。

基本設定>アラート>Eメールアラートの設定 画面で設定します。

Eメールアラートの使用にチェックし、送信元アドレスと送信先アドレスを入力します。  
入力したら”登録”ボタンを押します。

The screenshot shows a web management console with a sidebar menu on the left and three configuration panels on the right. The sidebar menu includes: サービス, ユーザー管理, 基本設定 (expanded), アクセス権限, バックアップ, MFP連携設定, グループウェア, ネットワーク, 時間, 言語, 共有, sotokara.com設定, SMTPサーバー, アラート (selected), パワーメール, その他, 外部デバイス, システム設定, システム状況, ログ, ログアウト. The first panel is titled '基本設定 -> アラート -> Eメールアラートの設定' and contains a '登録' button, input fields for '送信元アドレス' and '宛先アドレス', and checkboxes for 'システムアラートの使用', 'S.M.A.R.T.アラートの使用', 'バックアップアラートの使用', and '容量アラートの使用(%)' (set to 85%). The second panel is titled '基本設定 -> アラート -> Eメールレポートの設定' and contains a '登録' button, a '今すぐ送信' button, checkboxes for 'Eメールレポートの使用', a dropdown for 'レポート送信間隔(時間)' (set to 24), and input fields for '送信元アドレス' and '宛先アドレス'. The third panel is titled '基本設定 -> アラート -> アラートの設定' and contains a '登録' button and checkboxes for 'システムアラート音の使用', 'S.M.A.R.T.アラート音の使用', and 'LCDアップグレードアラート'.

以下の様なメールが届いた場合は、対応が必要になります。

エラーの詳細は、管理画面の動作状況及び S.M.A.R.T のページを参照して下さい。

### • Fatal Alert: Disk Error

ディスクに何らかの問題が発生しています。ディスク交換の必要があります。

### • Alert: S.M.A.R.T Check Error

S.M.A.R.T エラーが発生しているディスクがあります。

そのまま使用し続けると故障する可能性が高い為、エラーの出ているディスクを交換する必要があります。

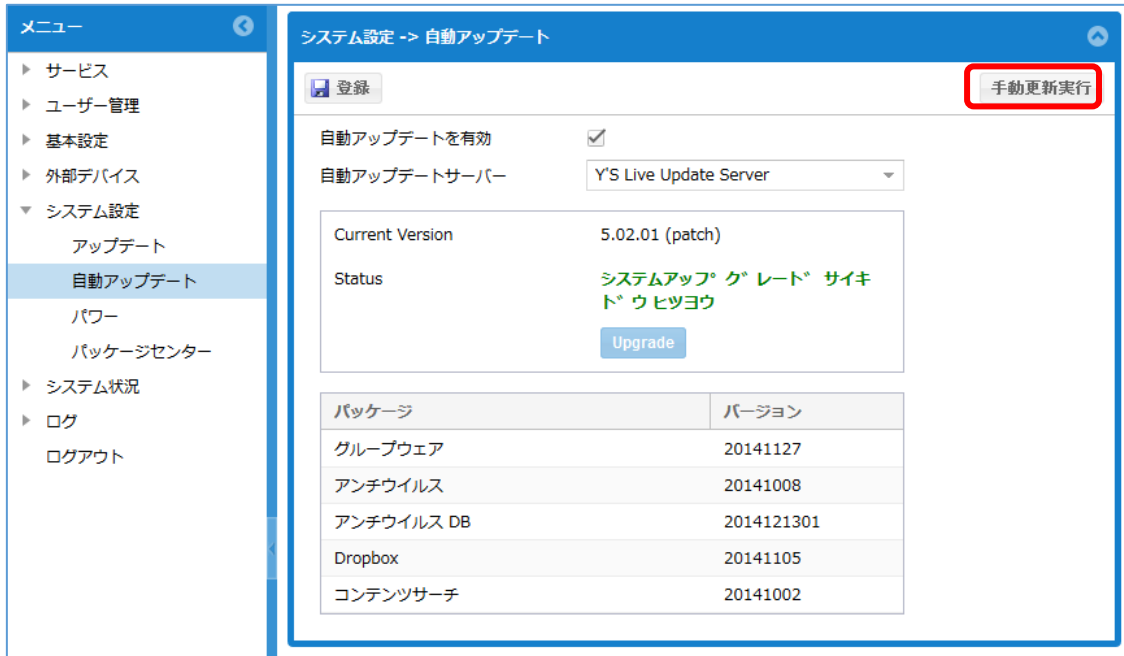
### • Alert: S.M.A.R.T test completed with error

ディスクのセルフチェックテスト実行時、テストが完了しなかったディスクがあります。

そのまま使用し続けると故障する可能性が高い為、エラーの出ているディスクを交換する必要があります。

## ■ Step9 システムの手動更新の実行

システム設定>自動アップデート 画面から、「手動更新実行」をクリックして下さい。



システム設定 -> 自動アップデート

登録 手動更新実行

自動アップデートを有効

自動アップデートサーバー Y'S Live Update Server

Current Version 5.02.01 (patch)

Status **システムアップグレードサイキドウヒツヨウ**

Upgrade

パッケージ	バージョン
グループウェア	20141127
アンチウイルス	20141008
アンチウイルス DB	2014121301
Dropbox	20141105
コンテンツサーチ	20141002

Status 部分に「システムアップグレードサイキドウヒツヨウ」の表示が出た場合、本機を再起動して下さい。液晶にも「サイキドウヒツヨウ」と表示されます。再起動後、最新バージョンへアップデートされます。

最新のファームウェアが存在する場合は Status 部分に「New Firmware v5.\*.\* release.」と表示され、「Upgrade」のボタンが押せる様になっています。液晶にも「アタラシイファームウェアがアリマス」と表示されます。

その場合は、「Upgrade」ボタンを押してファームウェアの更新を行って下さい。終了後、再起動すると最新のファームウェアへバージョンアップされます。



システム設定 -> 自動アップデート

登録 手動更新実行

自動アップデートを有効

自動アップデートサーバー Y'S Live Update Server

Current Version 5.01.01 (patch)

Status **New Firmware v5.01.01 release.**

Upgrade

パッケージ	バージョン
グループウェア	20141127

## ■ Step10 再起動

システム設定>パワー 画面から、再起動して設定を反映させます。



以上で、基本的な設置設定は完了です。

他の設定・使用方法に関しては「管理者向け操作ガイド」「ユーザー向け操作ガイド」をご参照下さい。

※外部ネットワーク上のPCから「パワーメール」「グループウェア」を使用するには、**設置されているルーター・ファイアウォールのTCPの80番ポート及び443番ポートのポート開放・ポートフォワーディング設定**が必要になります。

ネットワークの設定でhttpsポートを変更している場合は、変更後のポートで設定して下さい。

ルーター・ファイアウォールの設定方法に関しましては、各機器のマニュアルをご覧ください。

sotokara.comの設定後にルーターの設定を変更すると、グローバルIPが変更になる場合があります。その場合は、sotokara.com設定項目の登録ボタンを再度押して再登録してください。

## ■ ご注意

・システム設定>アップデート>設定ファイルの”設定ファイルのダウンロード”で.binファイルの書き出しができます。万が一の時の復旧を迅速に行うため、必ず弊社サーバーにご登録ください。

登録方法は、別紙を参照して下さい。

## ■ コンソールポートを使った本体初期化の方法

この手順は、設定した IP アドレスが不明になってしまった場合や、正常動作していない時にのみ行ってください。

- ① シリアルケーブル(クロス)をコンソールポートに接続する。
- ② ハイパーターミナルを起動する。(スタート→アクセサリ→通信→ハイパーターミナル WindowsXPの場合)
- ③ 任意の名前(例 ステルスワン)をつけて、接続してある COM ポートを選択する
- ④ 通信設定を次のように設定する。

通信速度	9600	パリティ	なし(None)
データビット	8	ストップビット	1
		フロー制御	ハードウェア

- ⑤ 電源を入れて、初期読み込み画面の後(30秒~1分)、次の ID でログオンする。

Login:	stealthone [Enter]	Password:	stealthone123 [Enter]
--------	--------------------	-----------	-----------------------

- ⑥ プロンプトが出たら次のコマンドを入力する。

StealthOne>	restore [Enter]	StealthOne>	reboot [Enter]
-------------	-----------------	-------------	----------------

- ⑦ 再起動し、IP アドレスが工場出荷時の 192.168.88.253/255.255.255.0 に変わっていることを確認する。

この他にも、「showip」コマンドで現在設定されている IP アドレスが確認できます。

※restore コマンドで初期化されるのは、基本設定のみです。ユーザー設定は初期化されません。